

進 行 管 理 表

目標	NO	取 組 事 項	取組数	
1 社会貢献 の加速	1～3	① 自然エネルギー導入の加速	3	16
	4～11	② 「既存ストックの有効活用」と 「施策連携」による地域社会への貢献	8	
	12～16	③ 戦略的な情報発信の推進	5	
2 安全安心 の確保	17～21	④ 大規模災害を迎え撃つ、 老朽化対策及び事前復興の取組	5	11
	22～24	⑤ 危機管理体制の強化	3	
	25～27	⑥ 適正な施設の維持管理と DX実装による工事、維持管理業務等の効率化	3	
3 経営力 の強化	28～34	⑦ 未来を切り拓く人づくりと組織づくり	7	26
	35～37	⑧ 脱炭素社会の実現に向けたGXの推進	3	
	38～48	⑨ 経営資源の有効活用	11	
	49～53	⑩ 利用者ニーズの的確な把握	5	
計			53	53

現行

目標		1 社会貢献の加速		取組事項	①自然エネルギー導入の加速							
内容		・ 地域脱炭素ロードマップ実現のため、企業局の技術力等を活かし、市町村・民間事業者等への小水力をはじめとする自然エネルギーの導入支援を行うとともに、ワンストップ技術支援機能の充実を行う。										
取 組 項 目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
<項目名>												
多様な自然エ ネルギーの導 入促進	1	<具体的取組>		市町村を含めた チーム体制による 導入支援 2件以上／年	チーム体制による導入支援 2件以上／年					○	◎	
		市町村と協働した小水力発 電の導入支援										
	2	地域資源に着目した民間事 業者等への自然エネルギー 導入支援		先進的な導入事例の調査研究と 情報発信 2件以上／年	導入事例調査					○	◎	
					情報発信 2件以上／年							
	3	市町村・民間事業者等への 技術支援		ワンストップ技 術支援の実施 関係部局と連携 し、市町村・民 間事業者等向け 説明会の実施	ワンストップ技術支援機能の充実					○	◎	
					説明会	説明会	説明会	説明会	説明会			

見直し案

目標		1 社会貢献の加速		取組事項	①自然エネルギー導入の加速							
内容		・ 地域脱炭素ロードマップ実現のため、企業局の技術力等を活かし、市町村・民間事業者等への小水力をはじめとする自然エネルギーの導入支援を行うとともに、ワンストップ技術支援機能の充実を行う。										
取 組 項 目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
<項目名>		<具体的取組>										
多様な自然エ ネルギーの導 入促進	1	市町村と協働した小水力発 電の導入支援		市町村を含めた チーム体制によ る導入支援 2件以上／年	チーム体制による導入支援 2件以上／年					○	◎	
	2	地域資源に着目した民間事 業者等への自然エネルギー 導入支援		先進的な導入事 例の調査研究と 情報発信 2件以上／年	導入事例調査					○	◎	
					情報発信 2件以上／年							
	3	市町村・民間事業者等への 技術支援		ワンストップ技 術支援の実施 関係部局と連携 し、市町村・民 間事業者等向け 説明会の実施	ワンストップ技術支援機能の充実					○	◎	
					説明会	説明会	説明会	説明会	説明会			

現行

目標	1 社会貢献の加速		取組事項	②「既存ストックの有効活用」と「施策連携」による地域社会への貢献							
内容	・ダム水源地域のにぎわい創出及び活性化を図るため、関係機関と連携し、川口ダムなどの既存ストックと地域観光資源を有効活用したニューツーリズムの創出や河川環境改善などによるダム水源地域の活性化を推進する。										
取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
スマート回廊を核とした地域振興	4	カヌー・SUPの拠点施設の有効活用	カヌー・SUP拠点施設を活用したツーリズム催行回数	1回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎		
			川口ダム湖を活用したウォータースポーツ体験者数	20人以上	100人以上	100人以上	100人以上	100人以上			
	5	日本科学未来館、あすたむらんど等との連携	企画展示数 5回以上/年	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	◎		
	6	川口エネ・ミュー10周年事業の実施	開館10周年記念に向け新事業の検討及び準備、実施	検討			準備	実施	◎		○
森づくりの支援	7	ダム水源地での地域が進める森づくりを支援	公有林化支援面積（累計）	882ha	962ha	1,042ha	1,122ha	1,202ha		◎	
	8	町等が実施する森林の除間伐・植林等を支援	森林整備（除間伐・植林等）支援面積 100ha以上／年	100ha以上	100ha以上	100ha以上	100ha以上	100ha以上		◎	
地域振興事業の支援	9	水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援	支援団体数 15団体以上／年	15団体以上	15団体以上	15団体以上	15団体以上	15団体以上	◎		
ダム水源地域の河川環境改善	10	地域鮎のブランド化やイベント開催による交流人口の増加	稚魚放流にあわせたイベントの開催	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	◎		
局有施設の有効利用	11	新川口寮の多面的活用	多目的スペースの地域開放、サテライトオフィスの設置	建設工事			運用		◎		○

見直し案

目標	1 社会貢献の加速		取組事項	②「既存ストックの有効活用」と「施策連携」による地域社会への貢献							
内容	・ダム水源地域のにぎわい創出及び活性化を図るため、関係機関と連携し、川口ダムなどの既存ストックと地域観光資源を有効活用したニューツーリズムの創出や河川環境改善などによるダム水源地域の活性化を推進する。										
取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX
<項目名>		<具体的取組>									
スマート回廊を核とした地域振興	4	カヌー・SUPの拠点施設の有効活用	カヌー・SUP拠点施設を活用したツーリズム催行回数 川口ダム湖を活用したウォータースポーツ体験者数	1回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎		
	5	日本科学未来館、あすたむらんど等との連携	企画展示数 5回以上/年	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	◎		
	6	企業局70周年・川口エネ・ミュー10周年事業の実施	事業の検討及び準備、実施	検討			準備	実施	◎		○
森づくりの支援	7	ダム水源地での地域が進める森づくりを支援	公有林化支援面積（累計）	882ha	962ha	1,042ha	1,200ha	1,240ha	◎		
	8	町等が実施する公有林の除間伐・植林等を支援	公有林整備（除間伐・植林等）支援面積 40ha以上/年	100ha以上	100ha以上	100ha以上	40ha以上	40ha以上	◎		
地域振興事業の支援	9	水源地域で実施する地域の魅力づくりや環境保全事業を支援	支援団体数 15団体以上/年	15団体以上	15団体以上	15団体以上	15団体以上	15団体以上	◎		
ダム水源地域の河川環境改善	10	地域鮎のブランド化やイベント開催による交流人口の増加	稚魚放流にあわせたイベントの開催	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	◎		
局有施設の有効利用	11	新川口寮の多面的活用	多目的スペースの地域開放、サテライトオフィスの設置	建設工事			運用		◎		○

現行

目標	1 社会貢献の加速		取組事項	③戦略的な情報発信の推進							
内容	- 事業運営に対し、広く県民の理解と協力が得られるよう、多様化した各種メディアや既存ストックを活用した積極的な情報発信に努める。 - ニューノーマルに対応した環境学習機会創出のため、オンラインによるICT授業やダム・発電所の施設見学等を実施する。										
取 組 項 目			K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	D×
<項目名>		<具体的取組>									
SNS等の各種 媒体の活用	12	企業局事業の理解促進と水源地域の交流人口拡大に向けたSNS等による情報発信	SNS等による情報発信 年100回以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	○	○	◎
県民理解の促進	13	水素を初めとする多様な自然エネルギーの学習機会の提供	川口エネ・ミュー年間延べ体験者数（バーチャル含む）	18,000人	18,300人	18,600人	18,900人	19,200人	○	○	◎
	14	水力・太陽光発電所、工業用水道の見学会による事業PR	企業局施設見学会実施10回以上／年	10回 以上	10回 以上	10回 以上	10回 以上	10回 以上		◎	
	15	ICTを活用した県内小中学校での出前授業（アウトリーチ）の実施	eブックの制作 環境学習などの出前授業の実施15回以上／年	制作 15回 以上	活用 15回 以上					○	◎
	16	企業局の森づくりを情報発信	「エネ・ミューの森」等でのイベント実施数3回以上／年	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	3回 以上	◎	○	

見直し案

目標	1 社会貢献の加速		取組事項	③戦略的な情報発信の推進							
内容	- 事業運営に対し、広く県民の理解と協力が得られるよう、多様化した各種メディアや既存ストックを活用した積極的な情報発信に努める。 - ニューノーマルに対応した環境学習機会創出のため、オンラインによるICT授業やダム・発電所の施設見学等を実施する。										
取 組 項 目			K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	D×
<項目名>		<具体的取組>									
SNS等の各種 媒体の活用	12	企業局事業の理解促進と水源地域の交流人口拡大に向けたSNS等による情報発信	SNS等による情報発信 年100回以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	100回 以上	○	○	◎
県民理解の促進	13	水素を初めとする多様な自然エネルギーの学習機会の提供	川口エネ・ミュー年間延べ体験者数（パッチャル含む）	18,000人	18,300人	18,600人	18,900人	19,200人	○	○	◎
	14	水力・太陽光発電所、工業用水道の見学会による事業PR	企業局施設見学会実施10回以上／年	10回 以上	10回 以上	10回 以上	10回 以上	10回 以上		◎	
	15	ICTを活用した県内小中学校での出前授業（アウトリーチ）の実施	eブックの制作 環境学習などの出前授業の実施15回以上／年	制作 15回 以上	活用			15回 以上		○	◎
				削除					◎	○	

現行

目標		2 安全安心の確保		取組事項	④大規模災害を迎え撃つ、老朽化対策及び事前復興の取組								
内容		・ 南海トラフ巨大地震に対し、電力及び工業用水の供給を継続できるよう強靱化を推進する。 ・ 安定供給確保のため、施設の老朽化対策を計画的に実施する。 ・ 関係機関と連携し、地下水送水設備の長寿命化対策により、渇水対策を推進する。											
取 組 項 目				K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX	
<項目名>		<具体的取組>											
南海トラフ巨大地震対策の加速	17	工業用水道管路の耐震化の推進	第2次管路更新計画の実施（阿南） 管路更新優先度評価の実施	調査・設計・用地			20%完了	40%完了	優先度評価	◎			
	18	川口ダム施設の耐震化の推進	耐震化の実施（ゲート巻上機の補強）	水車発電機内部点検手入れ工事			耐震化工事				◎		
老朽化対策の計画的推進	19	日野谷発電所大規模改修による長寿命化・強靱化対策の実施	大規模改修の計画的推進	構築物現状診断		概略設計発注準備		概略設計			◎		
	20	企業局設備に係る長期工事計画の策定及び計画に基づく設備更新	電気、工水、駐車場事業の長期工事計画の見直し及び設備の更新	電気見直し	工水・駐車場見直し	発電方法の変更に向けた調査		電気見直し	工水・駐車場見直し	○	◎		
渇水対策の推進	21	地下水送水設備の長寿命化	計画的な設備等の修繕等	計画に基づく設備の更新									
			第1 地下水設備	ポンプ盤取替		変電設備取替		揚水流量計取替	◎				
			第2 地下水設備	送水流量計取替			揚水流量計保守						

見直し案

目標	2 安全安心の確保		取組事項	④大規模災害を迎え撃つ、老朽化対策及び事前復興の取組									
内容	・ 南海トラフ巨大地震に対し、電力及び工業用水の供給を継続できるよう強靱化を推進する。 ・ 安定供給確保のため、施設の老朽化対策を計画的に実施する。 ・ 関係機関と連携し、地下水送水設備の長寿命化対策により、湧水対策を推進する。												
取 組 項 目			K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	DX		
<項目名>			<具体的取組>										
南海トラフ巨 大地震対策の 加速	16	工業用水道管路の耐震化 の推進	第2次管路更新 計画の実施 (阿南送水管) 管路更新優先度 評価の実施	調査・設計・用地			20% 完了	60% 完了	◎				
								優先度 評価					
	17	川口ダム施設の耐震化の 推進	耐震化の実施 (ゲート巻上機 の補強)	水車発電機内部点検手入れ工事			耐震化工事			◎			
老朽化対策の 計画的推進	18	日野谷発電所大規模改修 による長寿命化・強靱化 対策の実施	大規模改修の計 画的推進	構築物現状診断		概略設計 発注準備	概略設計			◎			
	19	企業局設備に係る長期工 事計画の策定及び計画に 基づく設備更新	電気、工水、駐 車場事業の長期 工事計画の見直 し及び設備の更 新	電気 見直し	工水・駐車場 見直し	発電方法 の適宜に 向けた調査	電気 見直し	工水・駐車場 見直し	○	◎			
				計画に基づく設備の更新									
湧水対策の推 進	20	地下水送水設備の長寿命 化	計画的な設備等 の修繕等	ポンプ盤 取替		受変電設備 取替		湧水流量計 取替	◎				
			第1 地下水設備 第2 地下水設備		送水流量計 取替		湧水流量計 保守						

現行

目標		2 安全安心の確保		取組事項	⑤危機管理体制の強化							
内容		・ 大規模自然災害を見据えた事業継続計画等の見直しや周知徹底と事故対応訓練を行うことにより、危機管理体制の強化を図る。										
取 組 項 目				K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
＜項目名＞		＜具体的取組＞										
大規模自然災害を見据えたBCP等の見直しと各種訓練の実施	22	BCP、応援協定、事前復興マニュアル等の見直し		新たな災害に対応したBCP等の見直し	見直し（適宜）					◎		
	23	メガソーラー電力や農水管連結設備を活用した防災・事故復旧訓練等の実施		訓練の実施 7回以上／年	7回以上	7回以上	7回以上	7回以上	7回以上	◎		
発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施	24	四国4県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用		訓練の実施 3回以上／年	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	◎		

見直し案

目標		2 安全安心の確保		取組事項	⑤危機管理体制の強化							
内容		・ 大規模自然災害を見据えた事業継続計画等の見直しや周知徹底と事故対応訓練を行うことにより、危機管理体制の強化を図る。										
取 組 項 目				K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
<項目名>		<具体的取組>										
大規模自然災害を見据えたBCP等の見直しと各種訓練の実施	21	BCP、応援協定、事前復興マニュアル等の見直し		新たな災害に対応したBCP等の見直し	見直し（適宜）					◎		
	22	メガソーラー電力や農水管連結設備を活用した防災・事故復旧訓練等の実施		訓練の実施 7回以上／年	7回以上	7回以上	7回以上	7回以上	7回以上	◎		
発災時の応援協定等を有効に機能させるための訓練の実施	23	四国4県及び鳥取県との相互応援協定、建設業及び設備業協会との応急復旧工事協定の活用		訓練の実施 3回以上／年	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	◎		

現行

目標		2 安全安心の確保		取組事項	⑥適正な施設の維持管理と DX実装による工事、維持管理業務等の効率化							
内容		・ 自然災害や感染症への対応などいかなる状況下においても事業を継続するため、施設や点検業務にDXを実装し、企業局点検業務のスマート化を推進する。										
取組項目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
＜項目名＞	25	＜具体的取組＞ AI・IoTを活用した点検業務のスマート化	Webカメラ・Wi-Fi環境の導入拡大	坂州・川口発電所	勝浦発電所	吉野川北岸工業用水道	阿南工業用水道			○	○	◎
			管路漏水検知システムの実装・活用	実装・活用								
「企業局業務のスマート化」の推進	26	設備の保守管理等でのドローン（水中ドローン含む）の活用	ダム・発電所等における点検時のドローン活用件数（R2からの累計）	5件	8件	9件	10件	11件		○	○	○
			ドローン操縦者の確保（操縦者数）	5名	6名	7名	8名	9名				
設備の機能維持、長寿命化	27	保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及びDXの導入に併せた規程・基準の適宜見直し	点検件数年間計画の100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施				◎
			規程・基準の見直し（適宜）									

見直し案

目標		2 安全安心の確保		取組事項	⑥適正な施設の維持管理と DX実装による工事、維持管理業務等の効率化								
内容		・ 自然災害や感染症への対応などいかなる状況下においても事業を継続するため、施設や点検業務にDXを実装し、企業局点検業務のスマート化を推進する。											
取組項目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX	
＜項目名＞ 「企業局業務のスマート化」の推進	24	＜具体的取組＞ AI・IoTを活用した点検業務のスマート化	Webカメラ・Wi-Fi環境の導入拡大	坂州・川口発電所	勝浦発電所	吉野川北岸工業用水道	阿南工業用水道			○	○	◎	
			管路漏水検知システムの実装・活用	実装・活用									
	25	設備の保守管理等でのドローン（水中ドローン含む）の活用	ダム・発電所等における点検時のドローン活用件数（R2からの累計）	5件	8件	9件	10件	11件			○	○	○
			ドローン操縦者の確保（操縦者数）	5名	6名	7名	8名	9名					
設備の機能維持、長寿命化	26	保安規程・保守基準に基づいた計画的な点検の実施及びDXの導入に併せた規程・基準の適宜見直し	点検件数年間計画の100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施	100%実施				◎	
			規程・基準の見直し（適宜）										

現行

目標		3 経営力の強化		取組事項	⑦未来を切り拓く人づくりと組織づくり							
内容		・ 新たな取組の推進や人事交流などにより、幅広い視野と新たな発想を生み出す環境づくりに取り組む。 ・ 現場力の底上げのために、若い世代に確実に知識・技術を引き継ぐ。 ・ 現場からの改善と行動で、業務の効率化を徹底する。										
取 組 項 目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
<項目名>		<具体的取組>										
働き方改革の 推進	28	電子決裁システムの利用促進	利用率 100%	100%	100%	100%	100%	100%				◎
	29	職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透	男性職員の配偶者の出産補助休暇の取得率 毎年100%	100%	100%	100%	100%	100%				
			男性職員の育児参加のための休暇の取得率 毎年100%	100%	100%	100%	100%	100%				
新たな取組の 推進に向けた 組織体制の強化	30	計画的な採用による人材補強	電気、機械職の継続採用枠の確保	採用								
	31	新たな課題に対応するための検討チームの設置	他部局及び若手職員を含めたタスクフォースを設置し、課題を検討 3課題以上／年	3課題以上	3課題以上	3課題以上	3課題以上	3課題以上	○	○	○	
活発な人事交流による幅広い視野と新たな発想を持った「人材育成」	32	他部局、他機関との積極的な人事交流	本局への新規配置 年1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上				
			他部局等との人事交流の実施 年1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上				
技術伝承による現場力と技術力の強化	33	若手職員育成、次代を担う職員への技術伝承、事業運営に必要な資格取得・研修の計画的実施	次代職員への知識・技能の引継ぎ	専門技術研修の実施								
			電気主任技術者資格等の計画的取得	必要資格の計画的取得								
現場からの業務改善の徹底によるコスト意識の醸成	34	業務と維持管理費等の効率化	現場職員と幹部職員との業務改善等に係る意見交換の実施 年2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上				

見直し案

目標		3 経営力の強化		取組事項	⑦未来を切り拓く人づくりと組織づくり							
内容		- 新たな取組の推進や人事交流などにより、幅広い視野と新たな発想を生み出す環境づくりに取り組む。 - 現場力の底上げのために、若い世代に確実に知識・技術を引き継ぐ。 - 現場からの改善と行動で、業務の効率化を徹底する。										
取 組 項 目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
<項目名>		<具体的取組>										
働き方改革の 推進	27	電子決裁システムの利用促進	利用率 100%	100%	100%	100%	100%	100%				◎
	28	職員のモチベーションを高める働きやすい職場環境の浸透	男性職員の配偶者の出産補助休暇の取得率 毎年100%	100%	100%	100%	100%	100%				
			男性職員の育児参加のための休暇の取得率 毎年100%	100%	100%	100%	100%	100%				
新たな取組の 推進に向けた 組織体制の強化	29	計画的な採用による人材補強	電気、機械職の継続採用枠の確保	採用								
	30	新たな課題に対応する組織体制の構築	他部局及び若手職員を含めたPTによる検討 3課題以上／年	3課題以上	3課題以上	3課題以上	3課題以上	3課題以上	○	○	○	
活発な人事交流による幅広い視野と新たな発想を持った「人材育成」	31	他部局、他機関との積極的な人事交流	削除 年1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上	1名以上			
技術伝承による現場力と技術力の強化	32	若手職員育成、次代を担う職員への技術伝承、事業運営に必要な資格取得・研修の計画的実施	次代職員への知識・技能の引継ぎ 電気主任技術者資格等の計画的取得	専門技術研修の実施 必要資格の計画的取得								
現場からの業務改善の徹底によるコスト意識の醸成	33	業務と維持管理費等の効率化	現場職員と幹部職員との業務改善等に係る意見交換の実施 年2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上	2回以上			

現行

目標	3 経営力の強化		取組事項	⑧脱炭素社会の実現に向けたGXの推進									
内容	・ 企業局の保有する水力発電設備を最大限活用することにより、GXの推進を図る。 ・ 多様な自然エネルギーの導入を検討する。												
取 組 項 目			K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX		
＜項目名＞		＜具体的取組＞											
水力発電設備 の最大限活用	35	日野谷発電所大規模改修に 合わせた出力の増強	発電力増強の計 画的な推進	構築物現状診断		概略設計 免注準備	概略設計			◎			
	36	川口・勝浦発電所の発電能 力の最大限活用	最大取水量の弾 力的運用や高効 率ランナ導入に よる発電力増強	(川口発電所) 関係機関との協議 可能性の検討	調査・ 手続き		運用			◎			
				(勝浦発電所) 関係機関との協議	調査・検討								
多様な自然エ ネルギーの導 入促進	37	地域資源に着目した自然エ ネルギー導入検討	先進的な導入事 例調査等による 導入可能性検討	導入事例調査等、導入可能性検討								◎	

見直し案

目標	3 経営力の強化		取組事項	⑧脱炭素社会の実現に向けたGXの推進								
内容	・ 企業局の保有する水力発電設備を最大限活用することにより、GXの推進を図る。 ・ 多様な自然エネルギーの導入を検討する。											
取組項目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方創生	GX	DX	
＜項目名＞		＜具体的取組＞										
水力発電設備 の最大限活用	34	日野谷発電所大規模改修に合わせた出力の増強	発電力増強の計画的な推進	構築物現状診断		概略設計 免注準備	概略設計			◎		
	35	川口・勝浦発電所の発電能力の最大限活用	最大取水量の弾力的運用や高効率ランナ導入による発電力増強	(川口発電所)		関係機関との協議 可能性の検討	調査	申請	運用	◎		
				(勝浦発電所)		関係機関との協議	調査・検討	ランナ取替				
多様な自然エネルギーの導入促進	36	地域資源に着目した自然エネルギー導入検討	先進的な導入事例調査等による導入可能性検討	導入事例調査等、導入可能性検討							◎	

現行

目標		3 経営力の強化		取組事項	⑨経営資源の有効活用							
内容		・ 企業局が保有する資産等の有効活用により、収益の増加を図る。										
取 組 項 目				K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	DX
電力システム 改革への対応	38	＜具体的取組＞ 売電収入の安定的な確保	県民利益の最大化に向けた契約 手法の確立	情報収集 及び検討	入札の 仕様決定	入札・契約	新契約の検証 及び見直し			◎	○	
	39	社会情勢等を見据えた最適 な契約方法や市場の動向を 調査	各種会議等での 情報収集、意見 交換回数 4回以上／年	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎	○	
未売水の低減 対策	40	新規需要の開拓や雑用水と しての利用拡大等による契 約水量の増大	契約有収率 （契約水量／給 水能力）	74%	74%	75%	75%	76%	◎			
駐車場事業の 経営健全化	41	民間ノウハウを活用した駐 車場サービスの向上	指定管理の更新	指定管理 更新	指定管理 新更新期間（R5～R9）					◎		
	42	駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、 利用台数を確保	利用台数 20万台以上／ 年 へ回復	18万台 以上	18.5万台 以上	19万台 以上	19.5万台 以上	20万台 以上	◎			
	43	藍場町地下駐車場への AI・IoT導入による機 能向上	車番認識システ ムの導入	導入	運用							◎
	44	藍場町地下駐車場エレベ ータ周辺のモニター設置によ る局広報及び広告収入の開 拓	企業局PR動画 と広告収入動画 の放映	企業局PR動画の放映 広告 募集	広告動画の放映							◎
駐車場の利便 性向上策	45	他施設、イベント等との連 携	キャンペーン等 の実施 年2回以上	2回 以上	2回 以上	2回 以上	2回 以上	2回 以上	◎			
局有地の有効 利用	46	工業用水道事業における未 利用地への企業誘致	企業誘致の実現	造成 工事	誘致企業の事業運営					◎		
工業用水道会 計への財政支 援	47	工業用水道会計の負担軽減 による進捗の加速	電気、土地造成 事業からの資金 融通の実施	工業用水道事業会計への 資金融通								
資金の効率的 運用	48	有利な運用利率の確保と検 討	効率的な資金運用 の実施	効果的な資金運用の検討								

見直し案

目標		3 経営力の強化		取組事項	⑨経営資源の有効活用							
内容		・ 企業局が保有する資産等の有効活用により、収益の増加を図る。										
取 組 項 目				KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	D×
電力システム 改革への対応	37	＜具体的取組＞ 売電収入の安定的な確保	県民利益の最大化に向けた契約手法の確立	情報収集 及び検討	入札の 仕様決定	入札・契約	新契約の 検証 及び見直し	入札・契約	◎	○		
	38	社会情勢等を見据えた最適な契約方法や市場の動向を調査	各種会議等での情報収集、意見交換回数 4回以上／年	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	4回以上	◎	○		
未売水の低減 対策	39	新規需要の開拓や雑用水としての利用拡大等による契約水量の増大	契約有収率 （契約水量／給水能力） 前年度比増加	74%	74%	75%	増量	増量	◎			
駐車場事業の 経営健全化・ 利便性向上策	40	民間ノウハウを活用した駐車場サービスの向上	松茂駐車場におけるカーシェアリングの利用台数／年 キャンペーン等の実施 年2回以上	削除			300台 以上	400台 以上	◎			
	41	駐車場利用者の利便性や安全・安心の向上等を図り、利用台数を確保	利用台数 20万台以上／年へ回復	18万台 以上	18.5万台 以上	19万台 以上	19.5万台 以上	20万台 以上	◎			
	42	藍場町地下駐車場へのAI・IoT導入による機能向上	車番認識システムの導入	導入	運用						◎	
	43	藍場町地下駐車場工レバータ周辺のモニター設置による局広報及び広告収入の開拓	企業局PR動画と広告収入動画の放映	企業局PR動画の放映 広告募集	広告動画の放映						◎	
			移動									
局有地の有効 利用	44	工業用水道事業における未利用地への企業誘致	企業誘致の実現	造成 工事	誘致企業の事業運営		工場操業開始 工水利用開始	◎				
工業用水道会計への財政支援	45	工業用水道会計の負担軽減による進捗の加速	電気、土地造成事業からの資金融通の実施	工業用水道事業会計への資金融通								
資金の効率的 運用	46	有利な運用利率の確保と検討	効率的な資金運用の実施	効果的な資金運用の検討	債券運用							

現行

目標		3 経営力の強化	取組事項	⑩利用者ニーズの的確な把握							
内容		・ 情報源の多様化により、経営環境の変化や多様化する県民や企業ニーズに対する感度を高め、それらに的確に対応することにより、経営基盤の強化を図る。									
取 組 項 目			K P I 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	GX	DX
＜項目名＞		＜具体的取組＞									
制度改正等の 情報収集・提案	49	制度改正、規制緩和に向けた政策提言	政策提言の実施 及び政策への反映	提言の実施 及び反映	提言の実施 及び反映	提言の実施 及び反映	提言の実施 及び反映	提言の実施 及び反映	◎		
利用者のニ-ズ調査	50	工業用水受水企業訪問（毎年）、 アンケート調査によるニ-ズ把握	・ 企業訪問数 15社以上／年 ・ アンケートの 毎年実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	◎		
	51	駐車場利用者のアンケート 調査等によるニ-ズ把握	アンケートの 実施 年1,000人以上 駐車場事業の 拡充	1,000人 以上 駐車場サービスへの展開	1,000人 以上	1,000人 以上	1,000人 以上	1,000人 以上	◎		
各種媒体の活用	52	SNS等の活用	SNSフォロ-数 100人以上増／ 年	100人 以上	100人 以上	100人 以上	100人 以上	100人 以上			◎
経営情報の開示	53	第三者が行う会議やホームページでの開示とパンフレット・冊子の発行	決算状況等を会議やホームページで開示 毎年実施	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示			

見直し案

目標	3 経営力の強化		取組事項	⑩利用者ニーズの的確な把握							
内容	・ 情報源の多様化により、経営環境の変化や多様化する県民や企業ニーズに対する感度を高め、それらに的確に対応することにより、経営基盤の強化を図る。										
取 組 項 目			KPI 重要業績評価指標	R4	R5	R6	R7	R8	地方 創生	G×	D×
<項目名>		<具体的取組>									
制度改正等の 情報収集・提案	47	制度改正、規制緩和に向けた政策要望	政策要望の実施 及び政策への反映	提言の実施 及び反映	提言の実施 及び反映	要望の実施 及び反映	要望の実施 及び反映	要望の実施 及び反映	◎		
利用者のニーズ調査	48	工業用水受水企業訪問（毎年）、アンケート調査によるニーズ把握	・ 企業訪問数 15社以上／年 ・ アンケートの 毎年実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	15社 以上 アンケート 実施	◎		
	49	駐車場利用者のアンケート調査等によるニーズ把握	アンケートの実施 年1,000人以上 駐車場事業の 拡充	1,000人 以上	1,000人 以上	1,000人 以上	1,000人 以上	1,000人 以上	◎		
				駐車場サービスへの展開							
各種媒体の活用	50	SNS等の活用	SNSアクセス数	100人 以上	100人 以上	100人 以上	10万件 以上	11万件 以上			◎
経営情報の開示	51	第三者が行う会議やホームページでの開示とパンフレット・冊子の発行	決算状況等を会議やホームページで開示 毎年実施	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示	情報開示			